

## Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)

# 2026年度 募集要項(オーストラリア)

立教大学 経済学部

### I プログラムの概要について

#### 1 ねらい

南半球の異文化の中で、語学研修、企業/事業所訪問、リサーチ・プロジェクト、ホームステイ等を通じて、視野を広げるとともに、激変する世界の中で生き抜く行動力を身につけることを目標とする。

#### 2 内容

秋学期の授業時間中は、映像資料を用いた経済学の反転授業や英語で自己紹介する練習等を行い、英語に触れながらシドニーでの研修の準備を行う。また、リサーチ・プロジェクトの準備作業を進める。2月～3月に行われるシドニーでの3週間の研修中は、午前中はシドニー大学(予定)においてレベル別の語学研修を行い、午後は英語でのプレゼンテーション指導、シドニー立教会の紹介等による企業・事業所訪問やワークショップを実施する予定である。また、最終週にリサーチ・プロジェクトのプレゼンテーションを行う。「英語を使える」ことを目指す。

(1)事前研修(100分×14回程度)：英語表現の習熟、訪問地シドニーに関する講義、反転授業システムを用いた英語による経済学の学習等を含む。

(2)海外研修：2027年2月6日(土)～3月1日(月)(日本発着)

- ・語学研修
- ・オーストラリア経済等についての授業
- ・企業等の見学やワークショップ
- ・リサーチ・プロジェクト ※プレゼンテーション・課題提出を含む
- ・帰国後の最終レポート提出

なお、海外研修中の使用言語は全て英語となる。

#### 3 海外研修先

大 学 名：シドニー大学 Centre for English Teaching  
(<https://www.sydney.edu.au/cet/>)

所 在 地：オーストラリア ニューサウスウェールズ州シドニー市

シドニー大学のメインキャンパスから徒歩3分の場所に立地しており、シドニー大学の各種施設を利用可能。

#### 4 宿泊先

委託業者の手配による現地家庭でのホームステイ

現地連絡先: Mikam International, Pty. Limited.

◆ホームステイ先現地家庭の調整、24時間日本語電話サポート(病気や事故に巻き込まれた時の相談、住居に関する相談、その他生活上の相談等)を担当。上記の他に、シドニー立教会のバックアップ体制あり。

#### 5 海外研修スケジュール [予定]

2027年2月6日(土) 東京/羽田空港 発

2月7日(日) オーストラリア/シドニー国際空港 着

2月8日(月)~2月26日(金) シドニー大学等にて研修

2月28日(日) オーストラリア/シドニー国際空港 発

3月1日(月) 東京/羽田空港 着

#### 6 開催形式

カスタマイズ型(基本的に立教大学生のグループで行動する)。

オーストラリアへの出入国時及び滞在中は基本的に団体で行動し、例外的な緊急事態を除き、個人都合による離脱や早期帰国は一切認めない。滞在中は担当教員及び受入先大学教職員の指示に従って行動すること。

#### 7 募集人数

15名~25名

※定員を超える応募があった場合、履修希望者の面接を行う場合がある。

※応募数が募集定員に達しない場合、催行中止の可能性はある。

#### 8 参加費総額

プログラム費用 : 90万円台見込 (詳細はII. 3(3)「参加費総額」を参照)

※為替相場や航空運賃の変動により変更が生じる可能性がある。

#### 9 集合および解散

羽田空港集合・羽田空港解散

## II 「Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)」科目について

### 1 以下の科目として開講される。

経済学部 「Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)」

経済学部生 : 科目区分:共通選択科目2の卒業要件単位

他学部生 : 所属学部の他学部履修の規程による

開講学期 秋学期

単位数 6単位

履修対象学生 経済学部、他学部ともに学部1~3年

(学部4年生及び大学院生は参加不可)

## 2 履修登録について

### (1)参加申込スケジュール

日程	時間	場所	事項・配布物
7/2(木)	12:35~ 13:15	<対面開催> 会場:池袋キャンパス 8号館5階 8501教室	履修ガイダンス 参加申込手続に関する説明
<b>【募集受付】</b> 募集期間：7/3(金)~7/10(金)正午 提出先： <a href="#">参加申込フォーム</a> に必要事項を全て記入し、以下の出願書類データをアップロードすること。 出願書類：・ <a href="#">出願理由書</a> (直筆で記入のうえ、PDFファイルで提出) ・ <a href="#">成績証明書</a> (成績参照画面をPDFファイルで提出) ※1年生は提出不要			
7/15(水)	15:00	経済学部 WEB掲示板	選考結果(履修者)発表
9/3(木)	10:00	履修登録システム	履修登録状況画面の更新
初回授業 9/23(水)	水曜6限 9B01教室(池袋キャンパス9号館地下)		第1回事前講義
10月上旬 事前講義で案内			旅行代金の案内と振込 プログラム費用の案内と振込

#### 【注意事項】

- 履修許可者発表後の履修取消はできない。
- 本プログラム事前講義が開講される曜日・時限に別科目の登録を行わないこと。  
**※同曜日時限に秋学期自動登録科目が登録されないことを事前に確認をした上で申込みをすること。**

#### 【二次募集を行う場合のスケジュール】

募集期間：7月15日(水)15:00 ~ 7月21日(火)正午

選考結果発表：7月24日(金)15:00

履修登録状況画面の更新：9月3日(木) 10:00

### (2)「実施」の確定について

7月10日(金)の参加申込締切時点で、履修者が最低催行人数(15名)を下回る場合、二次募集を行う。二次募集を行ったうえで定員を満たさない場合、当該科目は休講とする。なお、休講の場合、7月24日(金)に経済学部WEB掲示板にて通知する。

### (3)履修者の確定について

- 出願書類を提出した者のうち、出願理由書、成績証明書(成績参照システム画面のコピーで可)を総合的に評価して履修者を確定する。
- 選考結果発表後、教務事務センターが履修登録を行う。所定の日時(9月3日10:00)以降に履修登録状況画面(Web)で正しく登録されていることを確認すること。やむを得ない事情で研修に参加できない場合も履修登録の取消は一切できない。

### 3 応募要領

#### (1) 応募資格

- ① 2026年度秋学期に、経済学部または他学部1～3年次に在学する者(学部4年次生及び大学院生不可)
  - ② 海外での学習に意欲のある者
  - ③ 事前研修参加が可能な者
  - ④ 「Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)」の単位を未修得の者
- ※ 同学期に募集をする「SSA(CHN)」には、併願できないので注意。

#### (2) 出願書類

[参加申込フォーム](#)(Googleフォーム)に必要事項を記入し、フォーム経由で以下のデータをアップロードすること。

- ① [出願理由書](#)(直筆で記入のうえ、PDFファイルで提出)  
※ 注意 : AIが書いたものをそのまま提出せず、自分自身で作成すること。
- ② 成績証明書(成績参照画面をPDFファイルで提出) ※1年生は提出不要  
※ 成績参照画面をPDFにする方法は[こちら](#)より確認すること。

#### (3) 参加費総額 : 90万円台見込

上記費用に含まれるもの

- : ① 授業料・教材費、② ホームステイ滞在費、ホームステイ滞在中の食費(平日:朝食・夕食、土日:朝食・昼食・夕食)、③ アクティビティ参加費、④ 航空運賃(航空券、燃油サーチャージ、空港施設使用料・現地空港税、空港保険料、旅行会社企画料金を含む)、⑤ 滞在先から学校への通学費(一定額をチャージしたICカードを支給)

上記費用に含まれないもの

- : 海外旅行傷害保険(大学指定の保険に加入)、超過手荷物料金、日本国内における自宅から発着空港までの交通費、パスポート申請料金、ETA(電子渡航認証)申請料(20AUD)、現地昼食代、現地通学費(ICカードにチャージされた金額を超過した費用)

※ 注意 : 日本国籍以外の受講生は、国籍によってはオーストラリアの入国ビザ申請が必要になる場合がある(自己負担により別途費用の支払いが必要)。ビザが交付されない場合、オーストラリアでの現地研修に参加できなくなる可能性があるため、熟慮の上で参加申込について判断すること。ビザ申請の必要性の有無については、オーストラリア内務省のウェブサイトを確認すること。

<https://immi.homeaffairs.gov.au/visas/getting-a-visa/visa-listing/visitor-600>

※ 内外の情勢により、現地への渡航制限や滞在中の行動制限が発生するなど、結果的に研修地へ渡航できない可能性がある。その際のキャンセル費用や追加費用は自己負担とする。

#### (4) 支払方法 : 銀行振込

- ① プログラム費用及び渡航費用(航空運賃等)は、期日までに委託旅行会社の銀行口座へ振り込むこと(12月を予定)。
  - ② 海外旅行傷害保険料は、所定の期日(2027年1月を予定)までに大学が包括契約する保険会社代理店が指定する銀行口座に振り込むこと。
- ※ 費用振込に関する案内は事前研修の際に配布する。

#### (5)海外研修辞退の違約金

**履修登録後の参加辞退は認めない。**やむを得ない事情により参加を辞退する場合でも履修取消は行わない。また、辞退により発生する違約金・手数料等は辞退者が負担する。

辞退申し出先：学部事務2課(経済学部担当) 池袋キャンパス12号館2階

#### (6)保険

①海外旅行傷害保険(海外研修期間中の死亡・疾病・傷害・損害賠償責任付)は、大学の指定した業者で加入手続きを行う。手続きは大学が一括して行う。

②本プログラムは、学生教育研究災害傷害保険(全員加入済)の対象となる。

[正課・学校行事・学校に届け出た課外活動(いずれも海外を含む)に参加している間の事故による傷害に適用。「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照]

### 4「Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)」の成績評価方法・基準について

#### (1)成績評価方法・基準

参加学生は、事前講義、及びオーストラリアにおける海外研修等全てに出席しなければならない。

①プレゼンテーションの準備及び最終評価(30%)

②秋学期中の事前講義への積極的参加と貢献(30%)

③研修先での語学クラスの評価(30%)

④企業訪問等への積極的参加と貢献(10%)

※(本学及びシドニーにおける)全ての授業に出席すること。4回以上の遅刻や欠席はD評価となる可能性がある。

旅行会社や保険代理店による事務手続きに関する説明がある回では、無断欠席や遅刻は厳禁とする。  
やむを得ない事由により、欠席または遅刻を余儀なくされる場合、事前に申し出ること。

(2)成績評価は、秋学期科目として通知する。ただし通常の成績発表には間に合わないため、3月下旬以降、成績参照システム画面で確認すること。

#### (3)成績評価調査について

成績評価調査申請期間や申請方法については立教時間を確認すること。

#### (4)最終レポートの提出要領

①テーマは、海外研修時に発表する。

②提出期限：2027年3月9日(火)17:00

③提出方法：Canvas LMS(授業支援システム)経由で提出する。

### Ⅲ 奨学金について

本プログラムは立教大学グローバル奨学金および立教大学「校友会成績優秀者留学支援奨学金」の対象となる。申請資格等の詳細については学生部学生課で確認すること。

<https://portal.rikkyo.ac.jp/student-affairs/scholarships>

※「海外留学を支援する奨学金」参照。

#### IV 研修参加における誓約および了解事項

1. 本プログラムに参加する学生は、「Short-term Study Abroad Program in Economics (AUS)は、学生個人の自発的選択と責任において行なわれるべきものである。」ことを了解し、かつこの趣旨に関して、保証人の同意を得なければならない。
2. 渡航準備から帰国までを含む研修中の一切の行動は、学生個人の責任において行わなければならない。
3. 本プログラムは、2026年度秋学期末・学年末追試験期間（2027年3月1日(月)～3月5日(金)）と一部重複して開催される。プログラム参加予定者が追試験対象者になったとしても、原則として追試験対象者のための特別措置は取られないことを了解すること。追試験受験のためにプログラムへの参加を取り止めた場合でも、キャンセル料金は通常のキャンセル規程に基づき発生するため、上記の点を熟慮の上で参加申込を行うこと。
4. 渡航期間中、立教大学経済学部の責任に帰することができない事由、または本学および受入機関が管理し得ない状況のもとで発生した事故等により、自己に生じた損害または第三者に与えた損害については自己の責任において損害賠償責任その他の責任を負う
5. 科目担当教員は、本プログラムの成果を上げるためのオリエンテーションおよび助言を随時行ない、相談に応じる。
6. 参加学生は、事前研修、及びオーストラリアにおける海外研修等全てに出席しなければならない。
7. 計画は、実施内容の検討により変更することがある。
8. 参加学生は、大学が包括契約を行う海外旅行傷害保険(死亡・傷害・疾病・損害賠償責任付)及び留学生サポートサービスに加入する。
9. 事前に内外の情勢によって渡航が危険であると判断された場合は、プログラムの実施を中止する。その場合には履修が取消となる。
10. 本プログラムに参加する際に、身体面・精神面その他において特別な支援・配慮が求められる場合、受入教育機関との事前協議が必要となる可能性がある。そのため、特別な支援・配慮を必要とする学生は参加申込フォームの所定の欄に記入し、求められる支援・配慮内容に関して具体的に申告すること。また科目担当教員に対して、可能な限り早めに事前相談を行うことが望ましい。

#### V 科目担当教員

小澤 康裕（経済学部教授）

#### VI 問い合わせ先

経済学部 国際交流支援室 Email : intl-eco@rikkyo.ac.jp

以上